

アスパラガス に登録拡大!



モベント[®]X フロアブル

新規の作用性と
ユニークな浸透移行性で
コナジラミ類に優れた効果。
ハダニ類、アザミウマ類の
同時防除が可能。



アザミウマ類



コナジラミ類



ハダニ類

写真提供:長崎県農林技術センター 井上勝弘氏



農林水産省登録第23187号
有効成分:スピロテトラト…22.4%

モベントフロアブルの適用害虫と使用方法 (登録内容抜粋)

2018年7月現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期 [※]	使用回数 [※]		使用方法
					本剤	スピロテトラト	
アスパラガス	アザミウマ類 コナジラミ類 ハダニ類	2000倍	100~300L /10a	前日	3回	3回	散布

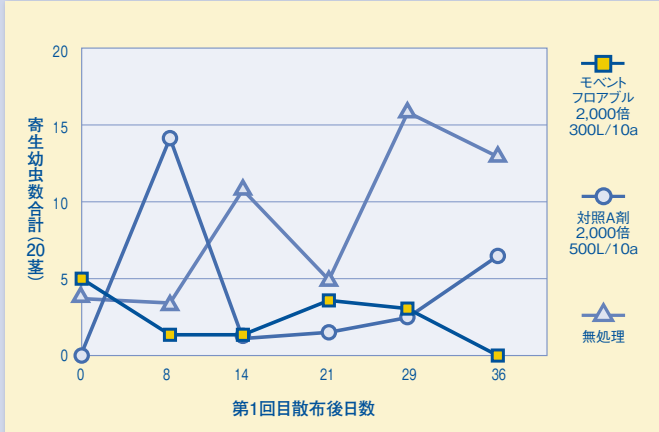
※印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前日数と本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

●その他の適用作物、害虫等は製品ラベルをご確認下さい。

効果

■コナジラミ類(タバココナジラミ幼虫)

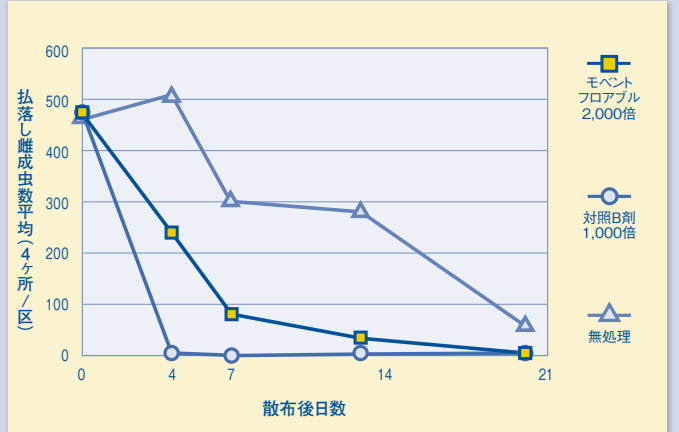
2016年 長崎県農林技術開発センター



発生:少発生 品種:ウェルカム(15年生生株、施設 立茎開始4月1日) 区制:5.4m²/区 2反復
処理:10月4日、18日の2回、飛散低減ノズルを用いてモベントフロアブル2000倍(300L/10a)、対照A剤2000倍(500L/10a)を散布
調査:第一回目散布前日、8日後、14日後、21日後、29日後、36日後に擬葉の寄生幼虫数を調査

■ハダニ類(カンザワハダニ)

2016年 長崎県農林技術開発センター



発生:基→中発生(放虫) 品種:ウェルカム(15年生生株、施設) 区制:5.4m²/区 3反復
処理:9月1日(収穫期)に300L/10a散布
調査:散布前、散布4日後、7日後、13日後、20日後に、各区4か所の擬葉への寄生雌成虫数を払落し法で調査

アスパラガスでの上手な使い方

■本剤の長期残効性を生かした5月下旬から6月頃の
コナジラミ類、アザミウマ類発生初期の散布がおすす
めです。7月から8月のコナジラミ類の密度増加時期の
散布により、ハダニ類との同時防除が可能です。

■遅効的で、成虫に対する効果が劣るため、
・害虫の密度が増加する前から初期にかけての散布が有効です。
・周辺からの成虫飛来が多い時期や、ハダニ類が高密度で発生
している場合は、速効的な薬剤との併用をおすすめします。

混用事例 ※以下の薬剤との混用で問題は認められませんでした。

殺虫剤

アードント水和剤	アディオン乳剤	アドマイヤー顆粒水和剤	アフーム乳剤	カウンター乳剤	カスケード乳剤
コテツフロアブル	コルト顆粒水和剤	コロマイト乳剤	スピノエース顆粒水和剤	ダントツ水溶剤	ディアナSC
ハチハチフロアブル	フェニックス顆粒水和剤	プレオフロアブル	プレバサンフロアブル5	モスピラン顆粒水溶剤	

殺菌剤

アフエツフロアブル	コサイド3000	ダコニール1000	ベンレート水和剤	ラリー水和剤	ロブラール水和剤
-----------	----------	-----------	----------	--------	----------

展着剤

スカッシュ	まくびか
-------	------

※各混用事例の薬剤は、品種、栽培条件、気象条件などによって異なる場合があります。あくまでも混用の目安として下さい。

注意事項

- 使用前に良く振ってから使用して下さい。
- 本剤を軟弱な苗に灌注又は株元灌注すると薬害を生じるおそれがあるので、注意して下さい。きゅうりに株元灌注する場合には、薬液が新芽にかかること縮葉等の薬害を生じる場合があるので、かからないように処理して下さい。
- 本剤をきゅうり、すいか及びメロンのセル成型苗に株元灌注又は灌注すると、薬害を生じるおそれがあるので注意して下さい。
- 機能性展着剤を加用してなすに散布する場合、果実表面にくばみ状の薬害が生じるおそれがあるので事前に薬害の有無を確認して使用して下さい。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、周辺の桑葉にかからないようにして下さい。
- 本剤はマルハナバチに影響があるので、本剤を使用する場合には他の方法で受粉作業(人工授粉、植物ホルモンなど)を行って下さい。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 水稲に本剤がかかると不稔などの薬害を生じる場合があるので、かからないように注意して下さい。

- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 誤飲などのないように注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗して下さい。
- 本剤使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://crops.cscience.bayer.jp>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00~12:00, 13:00~17:00
土・日・祝日を除く

F-1064 18.07.TA